津奈木

発行所
津奈木公民館
芦北郡津奈木町
電話　（代表115番）
編集人　岡松　壮
印刷所　緒方印刷所
八代市通町
電話（八代）代表 ②3117番

日赤募金

五月に赤十字社の募金があります。どうぞ御協力下さい。

急停車されてもよい距離よい速度

昭和四十四年度 施政方針

町長　齋藤亀齢

ゆたかで明るく住みよい津奈木町を建設するため、一般会計・特別会計合せて二億四千八百万円に上る経費を計上し、次の六大項目についてその実現を期することにいたしました。（議会提出議案による）

㈠工場誘置を図る

海陸の交通が便利であると同時に地域住民の勤勉と協力が、工場誘置の決め手であると言われております。幸にして時期が米が多すぎて農地転用もたやすくなり、津奈木干拓も工場誘置に了解を得ましたので、いよいよ本格的な誘置運動にふみ切ることができます。

本町の発展が工場誘置より他にないことはすでにご承知の通りですから、ますます町民一丸となってその実現を図らねばなりません。ご協力のほど切に切にお願いします。

㈡町ぐるみ教育の提唱

教育の三大目標として (1)人づくり (2)体づくり (3)金づくりの三つをあげました。

大きな投資的事業として津奈木小学校の新築がありますが、第一期工事もすでに三月中に終り第二期工事を計画中であります。

新校舎へ移転のあかつきは、(1)給食センター開設 (2)水泳プール開場 (3)幼稚園の開園 (4)総合グラウンドの設置等多彩な近代文化センターができ上ります。

また社会教育面では、移動町政の開催、青年学級、婦人学級の開設の各団体との連けい活動を図っております。

㈢観光開発の実現

今年は観光開発の年であると決意いたしまして目下青写真を計画中でございます。

先ず、地下資源（特に温泉・用水）開発のため熊大の藤芳教授をお招きして、海岸地区に適地を決め以今ボーリング中であります。

次に、県定公園芦北海岸随一の勝地長浜を、海水浴場にするため、地域町民の方々と協力してその整備に努力中でございますので、今夏から海水浴場開きをする運びであります。

㈣産業対策について

現在、農家戸数一〇〇〇戸、内兼業農家の占める数は非常に大きいが、農地面積　田一七二・五ha畑一九〇・九ha（内果樹園二八・一ha）で平均四六・三アールであって規模が小さすぎます。

そこで水田については規模拡大が望めないので、果樹、煙草、畜産等それぞれの農家が希望する部門を取入れた複合経営によって、経営規模の拡大を計っております。

果樹（蜜柑）については、将来本町の経営面積を三〇〇haを目標として指導しています。

煙草については技術の向上、設備の完備により、着々成果をあげていますが、尚人件費、物件費、地代、労働力等について検討の余地があります。

畜産では酪農、肥育牛、養豚、ブロイラー共に今後規模拡大、飼育農家の増加等が考えられるが共に水稲、果樹との複合経営を考えながらの経営を計ります。

その他

林業＝林道開発、森林組合の育成

水産＝養殖漁業、観光漁業、漁協青壮年部の育成、関連道完成、漁港整備。

商工＝工場誘置による発展、観光による適策、商工会の育成

煙草の町内購入

㈤土木事業・土地改良事業

本町町道は路線数七六本、内砂利道路は総延長六四、五〇〇米その総面積は二四五、五〇〇平方米でそのほとんどが農道、林道であります。私は砂利道路を一ヶ年一二、九九〇米づつ舗装して五ヶ年に完了するつもりですすめております。

四十四年度に計画しております道路は継続として岩瀬、神前、八迫、野首、新設として赤崎山野、平国、天子宮、平国農道橋、倉谷、上塩屋、石木田等主なるものであります。

㈥町役場事務改善について

役場の窓口改善については町民の声を聞き適切なる運営を図っております。詳しい事は移動町政の折ご説明申上げる積りでございます。

異動

助役、収入役の異動で、課長級に次の通り配置がえがあった。

○総務課―諫山貢氏

アイディアマンであり、世話のとゞく人である。異色の人事で新風に期待。

○町民課長元村　壮氏

税務・経済課長の堅実な実績を買われ、且、円満な人格が適役と

○経済課長―鶴田幸人氏

多年農政を担当し、その業績からして抜てき、町発展と直結する経済課長は適材適所といえよう。

移動町政

町長は三月の議会で「町民の声を聞き、町政に反映させるため、課長（ときには係長）で編成して部落に出かけるいわゆる移動町政を開設する」と施政方針で明かにしました。左記の方法で実施しますのでご協力をお願いいたします。

記

一、主旨、本町行政の円滑化をはかるため、話し合いの場を設け、不平不満を解消し、これを町政に反映させる。一方では本町の実態も知って貰う。そして住みよい、豊かな町作りを行う。

二、構成

①参与＝町長助役収入役五課長（関係係長）来賓（町議）

②各部落単位に行う。但し区長の話し合いの上、二つ以上の区を合同することもある。

③運営は原則として、区長が議長をつとめる。但し止むを得ないときは区長以外でも差支えぬ。

④発言は議長の許しを得てする。

注意（会をみだすような言動、他人に迷惑のかかるような発言は取り消しや、退席を命ぜられることもあります。）

自由に発言する会ですから、こまかい規則は設けはいっていません。

（総務課長　諫山　貢）

たばこは
津奈木の
店から
買いましょう

新着図書

◎柴田錬三郎　英雄ここにあり㈠㈡㈢ ◎庭野日敬　人間を育てる心 ◎岩瀬孝　ゲバラを追って ◎南条範夫　侍八方やぶれ ◎有吉佐和子　女三人のニューギニア ◎安永道義　明治百年、熊本県の歩み ◎出口敏正　税の相談室 ◎菊池誠　ある技術者の発想 ◎城戸崎愛　西洋料理 ◎梶山季之　悪女の条件 ◎黒岩重吾　氷った果実 ◎城山三郎　硫黄島に死す ◎山本茂実　ある野麦峠 ◎瀬戸内晴美　あなたにだけ ◎石坂洋次郎　だれの椅子 ◎阿川弘之　ぼんち ◎源氏鶏太　愛しき哉 ◎岡潔　一葉舟 ◎早乙女貢　忍法秘巻 ◎与謝野秀　エチケット事典 ◎外林大作　夢判断 ◎沼田嘉穂　簿記入門 ◎花登筐　道頓堀 ◎山田鉱一　私でも直せます ◎紺野義雄　自分で治せる病気 ◎主婦と生活社　つけもの　おべんとう　かんずめの料理　おべんとう三百種 ◎荒井邦子　草花栽培百科 ◎藤原楚水　ポケット論語 ◎末間瀬精二　キリスト神話考 ◎千田夏光　占いの科学 ◎大山玲飛　盆栽の仕立て方花木㈠㈡ ◎江尻光一　洋ランと観葉植物 ◎源氏鶏太　歌なきものの歌 ◎陳舜臣　玉嶺よふたたび ◎松平義信　これだけは知っておきたい女子社員の心得 ◎WGダムロース　四〇まで成功する法 ◎三宮欣也　松下とソニー ◎金子登　息ぬきのすすめ ◎三橋一夫　二十四時間スタミナ強化

交通座談会

交通座談会
出席者（いろは順）
町役場交通係　伊藤一吉
岩城駐在所　本田次男
津奈木小学校長　竹内　明
司会　岡松　壮

登下校に親は心配

司会　新入生の学校の行き帰りについて親は一番心配しているだろうと思いますが、学校としてはどんな手を打っていられますか。

竹内　私たちの一番の気がかりは新入生の登下校の交通の安全ということであります。登校時は上級生がついていますが、下校は学年によって帰る時間が違いますので、学級単位とか、学年単位とかに団体で帰します。それで一年の最初の間は、担任が上は中尾の十字路まで、下は桜宮まで引率します。しかし一年中引率の必要はありませんので、四月一ぱいを目標に、だんだん引率の距離を短かくするように訓練しています。

司会　事前指導はありませんでしたか。

竹内　入学したらすぐ、現場につれて行って指導しました。今、一年生は教えられた通りにやっていますが、上級生や大人の人が守らぬと、その正しさが崩れる心配があります。

司会　本田さんや伊藤さんは、子供の登下校についてお気づきはありませんか。

伊藤　止むを得ずに三号線は通るのでしょうが、その時はまっすぐ前を向いて歩くこと、時々はハシャいで人道からはみ出る人や、よそを見て通る人がいて、危いと思いました。

本田　道路わきにリヤカーなどとめてあるその横を通る場合、やはり二列のまま通るようですから、そういう時は一列になるという臨機の処置をとる指導が必要でないかと思います。また雨の日などは自動車のトバシリを後でぬぐう手試を持ってはどうかと思います。

伊藤　リヤカーをよけて通らねばならぬ時は、前からくる自動車に十分注意する必要があります。時には通りすぎてから通ることもあっていい……。

竹内　いろいろご注意有難うございました。これまでの指導に更に加えて注意したいと思います。なお今までは赤白帽をかぶせて登下校のしるしにしていましたが、五月から共通性のある黄色帽を全校生にかぶせる準備をしています。

自動車・単車

伊藤　三号線では二人乗りの自転車は禁じられています。また単車の二人乗りで横乗りはできないことになっているのに、女の人が横乗りしているのを見うけます。

司会　自転車の無灯火はどうですか。

本田　当然処罰の対象になります。間違いなく千円の罰金がきます。自転車のブレーキやハンドルまわりが悪くて、自動車と衝突した場合は、自転車の方が過失となって不利になります。

竹内　このごろ自転車の不備なものが多いようです。リンがないとか、反射板がないとか、サドルがどうとか問題が多いようです。

司会　反射板がない自転車が夜間通っていても、気づかぬことがあります。

本田　自転車を整備しておくことは自分を安全にすることである。特に反射鏡ですが、外国製で価格は張るが効果が大きいので、中学生に勧めておきました。百円かと記憶しています。

伊藤　自転車や単車で減光しない人があります。先方が減光しないでも、こちらから減光する位の思いやりが必要と思います。

本田　自転車は減光装置がないので、速度をゆるめて減光せねばなりません。

3月10日未明津奈木町下門カーブで事故を起した自動車。
子供が見て「どっちが頭かわからない」というほど無惨になっていた。

ある交通事故

伊藤　交通量が年々増えると事故も増えますが、津奈木でもそうです。無免許飲酒運転が減りません。そこで会合から酒を廃し、飲むなら家庭でということにしています。飲酒運転の恐ろしさを知らぬといえばあまりに無知です。この間の事故を本田さんから……。

本田　去る三月九日水俣から夜の十時半ごろ帰って津奈木のあるオデンやで飲み、閉店時間がきてオデンやを出、一しょになった友達と二人のみ歩く中、一人は飲み倒れたので、無免許ながら、友達のくるまを無断拝借して、また飲みに出かけた。明け方帰ってる途中、下門のカーブは、廻ったものの、左に切りすぎてガードレールに突き当りそうだったから、急に右に切ったら、横倒しになり、そのまま神前橋の手前の田に落ちた。未熟のせいもあり、酒でスピード感もなくなったと思われます。

伊藤　未青年者であり、しかも酒を飲んでおり、無断でくるまを持ち出し、スピード違反もあり、その上無免許運転と、一つも同情すべきところがありません。

これが津奈木から出たということで、津奈木の面汚しとなりました。

ある人は「夜明けごろまで、特に未青年に酒を飲ませる店はどだろう」と非難する人もいます。店の人も運転者にはまた未青年には酒をのませぬよう協力してもらいたいものです。

本田　一般飲食店でも十二時すぎたら酒類を出してはならぬことになっています。ドライブインでも飲ませぬよう協力してもらっています。

伊藤　若し事故が起き相談したいことがあれば、役場の交通事故相談所に相談して下さい。役場で分らぬと、県の相談所にたずねて処理してあげます。

司会　もう外にお気づきは、

伊藤　桜戸交叉点から古川橋の間いつも十台ほどの駐車しています両側に置いてあるので、縫うて通らねばなりません。どんな大事故が起るかしれません。所有者は道路におかぬようにして下さい。

司会　どうも有難うございました。

（紙数に限られて、御発言、全部を載せ得なかったことをおことわりいたします。）

深水宗安

津南先生は深水玄門さんのお父さんにあたります。

この父にしてこの子あり。玄門さんが立派な医者となられたのもその父宗安さんの感化指導によることが多かったと思われます。

宗安さんは延享三年、今から二百二十三年前に津奈木に生れられ、幼名を仙寿といい、幼い時から大変親孝行者で、また勉強好きであり、その家が芦北郡の南部津奈木郷にあったので、人が津南先生といっていた。

八、九歳の頃からいろいろの本を読み、また専門の医者に関する書を読んでいられた。

朝は早く起き、夜はおそくまで勉強し、眠くなると外をかけまわり、それでもねむくなると、頭を柱にぶっつけたり等して、ねむ気を覚して勉強していられたことは、当時の有名な話となっている。

十七歳の頃、小さい家を陳尼の山の中につくって、一人で本を読んで勉強されること三年間、その間、村の人や友人達は大変感心して、いろいろの飲物やたべ物を持って来る者が多かった。これでは人々にかえってめいわくをかけて相済まぬと、今度は甑山（久子山）に居を移し、そこでまた読書研究すること二年間。そののち、家に帰って尚読書勉学を怠らなかった。

その趣味として、山水、泉石を愛し、また非常に琵琶が好きであった。いつも琵琶を抱き、山林や水石の間を逍遥して、琵琶を弾いたり吟じたりしておられたことはきこりや子女供までの語り草となっていたという。

また大変石が好きで自分のことを石山主人といい、夢に自分が石になった等という詩を作っていられる。

生涯物の生を尊び、小虫といえども殺すに忍びず、また平素寝る時に布団を敷いて寝ることをきらいなかった。それは父の宗恕翁が布団を敷くことをきらいなかったためである。

津奈木の歴史

千々岩頼母

家庭教育の目標

今日の教育の乱れは、家庭教育のタガのゆるみからだといわれています。果して自分たちの家庭でのしつけは間違っていなかったかどうかを、次の三つの項目に照らして反省してみましょう。

㈠道徳教育は学校だけでは達成できない。どうしても家庭で小さい時からしつけておかなくては、例えば、孝行、親切、礼儀、感謝、規則を守る。公共物を大切にする慎頓、清潔、忍耐等々、子供が理屈をいわぬ小さいころからたたき込んでおいたか。

㈡なんといっても身体が活動のもとである。それには、身を大切にする衛生と、進んで身を鍛錬するための実行と、失われるカロリーをどしどし補給する栄養の三方面についてはどうか。

㈢大事なものを取りもどさねばならぬもの、一つ奉仕の精神、一つ郷土や国家を愛する心。

国家社会から取ることだけ知って、お返しをしない。いうなれば肥料をやらずに米だけとるようなもので、ついには稲と共に亡びねばならぬ吾が身であることを忘れていないか。

以上のことは、先ず親が見本を示さねばならぬ。しかし親とて決して完全にできるものではない。できぬからやらぬは親の資格はない。努力が尊いのです。

親たるもの勇気をもって、子の指導者に徹しましょう。

（備考）、右は、これまでの教育反省の上に立っての、新しい指導要領を文部省が定めたものに拠る。

教育長　岡松　壮

向って左から、昇降口、資料室、特殊学級室、職員控室、教室二つおいて便所、そして教室二つ
面積 680平方メートル（約 206坪）
平家建、扇形、南向き、扇のかなめの方から見ると校舎の背景に城山、長半岩及びそれに連なる岩々が、厳然とそそり立って校舎を護ってくれているようである。

こわい道、あそぶな、かけるな、飛び出すな

新任校長として

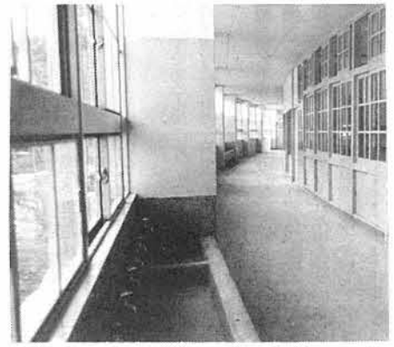
平国小学校長　米村　勝

四月一日の定期移動により、本町の平国小学校長を拝命することになりました。

前任校（八代郡千丁小学校）の芦北郡に経験のある先生に、平国のことを聞いても、海辺だとしか知りません。

百聞は一見に如かずで、一日車を駈って、津奈木町教育委員会に出向きました。幸い岡松教育長に逢い、その上町内の三校長にも初対面の挨拶を交わすことができました。

その後赤崎三島校長先生の御案内により、平国小学校に参りましたが、その間、岬あり湾あり断崖



ありで、海はあくまで濃紺の色鮮やかで、風光明眉の景勝の地です。

職員数八名、児童数一五一名の小じんまりした学校の経営を任かせられたわけですが、一番大切なことは和にあると痛感しています。先生方の和、学校と地域の和、その和があるところに協力が生まれ、お互に敬愛の念が生まれ、信頼が生まれて来ると信じています。児童一人一人の真の幸福を念じて御努力したいと思っています。浅学菲才のものではありますが、皆様方の御鞭撻御支援をお願いしておきます。

教職員の異動

二十一人の移動、上のために、誠心誠意おつくし下さったことを、衷心より御礼申し上げます。

なお、新しくお赴任いただいた先生方を、心より喜んでお迎えいたします。

転　出

今田　吉一　大尼田小　津小
吉本百合子　計石小　津小
深江　晴汪　井牟田小　津小

転　入

田部　良一　海路小　津小
犬童　昭雄　佐敷小　赤小
上田　健　湯出中長　平小
原　三貴雄　人吉一中　津南
金子　公明　佐敷中　津南
田代　晃三　佐敷中　津南
中山　伸一　葛渡中　津南
河野　暁子　松橋小　津南
大塚　春男　退職　津小

転　入

小島　鉄夫　津小教頭　海浦
宮島　安　津小　女島
春木　正文　津小　新卒
角口　毅　赤崎　天草・深海
米村　勝　平小長八代・千丁
山下　照雄　津南中球磨・深田
松村　誠也　津南中　湯浦
前田　和徳　津南中　新卒
田川　和子　津小事務　本庁

有望歌手誕生

大泊　柳迫幸博君（芸名　水城　顕）

樹楷の恋の物語

一初恋に泣いたという
あの人の肩がぬれてた
僕だって好きだけど
いえないさ樹楷の恋
二行きずりの恋だと言った
あの人の髪がゆれてた
今だって今だって

好きなんだ樹楷の恋

これは大泊出身の柳迫幸博君（父柳迫敏行氏）が吹き込んだレコードの一面の歌である。幸博君は昭和四十三年八代第一高校を卒業して、声を生かすため東京に上り有名な小畑実氏について勉強し、ついで、中芸プロの池田欽一郎氏について研さんし、上達著しく、このあいだ日本バイオニアレコード会社でレコーディングして、水城顕の名で五月上旬発売されることになっている。曲名は、「樹楷の恋の物語」

「エメラルドの恋」の表裏

郷土出身を引き立てるために大いに後援していただきたい。

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

親子球技大会

子供会主催

赤崎、平国校区ではポートボール（簡易バスケット）

小学生十人　中学生十人　父兄十人、男女比男五人女五人

平国校区

平国校区は三月二十四日平国小学校で実施、参加チーム五（福浦字土打越　上下　権現　浜）

一等浜部落　二等権現　三等上下

赤崎校区

三月三十日北風の強い寒い日だった。一等日添中　二等塩屋　三等当上　参加チームは入賞チームの外に日添上、日添下、日当下の六チーム。

津奈木校区

一ソフトボール（小学校の部）

七回戦中四回まで小学生（男六人女三人）引続いて父親

二卓球

十一本三セット、中学生三組、男三名女三名混合ダブルス、母親二組ダブルス

ソフトボール十チーム出場

卓球七チーム出場

ソフト　一等新川　二等竹中
三等中尾、小津奈木
卓球　一等桜戸　二等大泊
三等竹中上下門

親がまず、手本を示そう正しく横断

町民課窓口改善

町民へのサービス

一、転入転出届出の改善

このことについては、従来区長の証明を必要としていたため、これを忘れて役場に来てまた部落に帰り区長証明をとり、再度役場に出頭する等、特に遠距離並びにお急ぎの方には大変不便をおかけしていましたので、本年四月一日から区長証明はいらずに手続きがとれることにいたしました。そこで区長は部落内の人員の把握が出来なくなるので役場では毎月まとめて移動状況を通知することにいたしています。

二、届出事務の改善

従来届出は「出生」「死亡」を町民課で、「選挙人名簿登録」は総務課で、「国保被保険者の移動」は税務課でそれぞれ取り扱っていたため、手続がまぎらわしかったのを、町民課一課で取り扱うことにしました。それで手続きがひじょうに、簡単になりました。

三、手数料徴収の改善について

このことについては従来収入役の窓口まで足を運び納めて貰っていましたが、これも不便であるため町民課で徴収することにいたしました。

以上三点について、いずれも、本年四月一日から実施致しますのでお知らせ致します。

尚近く納税袋を作成し、各戸に配付する予定ですが、そのうちに役場届出の手引を考案致しましたので手続きにご利用下さい。

町民課長　元村　壮

三ッ島海水浴場

本町は芦北郡内で海岸線は一番長いのであります。また湾曲に富み景色のよいことも他に秀い出ております。

このりっぱな海岸を持ちながら海水浴に他町村に行く人が沢山あります。

本町でもよい場所はあっても道の便が悪く、利用できなかったのですが、今回合串福浦線（町道）の終点に長浜という大へんよい場所があり景色も極めてよい、しかも前に三ッ島を控へ、遠く天草の島々を望む場所です。

四月一日、役場より町長始め関係者、地元より町会議員区長及び地元民代表等三〇名余り現地に集まって検討をいたしました。

海岸への連絡道路・駐車場・脱衣所・便所・水源地及びこれら諸施設を建設する敷地のこと及び海岸の塵介処理の問題等研究し、この海水浴場を今年はぜひ実現させたいということを参集された人々に訴えたところ、みな賛成でありました。

これら諸設備に対する予算の裏付等早急に而も各専門担当において実現に邁進しようと思います。何卒みな様方の御協力御援助を切望いたします。

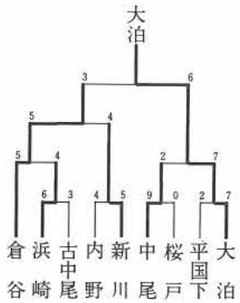
助役　松本金義

相撲大会

昭和四十四年四月十三日、大泊金刀比羅宮で、総合得点制による競技の皮切りが、相撲大会によって開かれた。

桜は満開、天気はうらら、眺めは天下一品。

十時開会、試合経過は次のとおり。



成績は
一等　大泊
二等　倉谷
三等　中尾・新川

なお準備運営について、大泊部落の絶大なる協力に感謝

赤崎婦人分団の散団式

津奈木町消防団、赤崎婦人分団は、昭和二十七年三月一日、赤崎地区の未婚女性を主にして赤崎婦人消防団を設立した。然るに設立当時と現在では社会情勢その他が、著しく変化したので、熊本県下で指折りのこの分団は、本年三月四日に地元赤崎会館に於て、満十七年に亘った幾多の功績を残し、散団式が挙行されました。

この間には、赤崎地区の火災出動を初め、三十一年の台風九号、三十八年水害と台風十四号、四十年台風十五号の救助と復旧作業等、そして例年の家庭火元査察など、男子同様に活躍して来ました。

昭和四十三年三月三日、熊本県知事より、消防制度二十周年記念優良団体として、表彰されています。

伊藤　一吉

軍歌に泣いた

慰霊祭

春のうららかな四月九日、三百余の遺家族、来賓を千代塚にむかえて、おごそかに慰霊祭が行われた。開会のファンファーレは、しめやかで、しかも過ぎし日の壮烈な戦闘を思わせる強さを秘めて、先ず慰霊の雰囲気を作った。

町長の祭文の中に「日本の今日の繁栄は、諸氏のとうといぎせいのおかげです」という語には力がこもった。

遺族も老いた。代って若い人が出席されたのもあり、かわる人もなく欠席されたのもあろう。

式が終って軍楽隊の「七ツボタン」や「恩賜のたばこ」「麦と兵隊」「同期の桜」「勝ってくるぞと」などの歌を聞いてみなた泣いた。

もらった折詰を食う先生の上は暖かった。

保母早退勤

保育園児は両親の仕事の都合で七時半には出てくるものがいます。

そこで当番の保母は七時半に出勤していなければなりません。

従って、早出のものは一時間だけ早く帰ってよいことにしてあります。

消防団点検

本年度津奈木町消防団、通常点検は四月六日にありました。

表彰状……副団長若島　弥一郎氏は四十二年と四十三年の二回、団員として出務中交通事故現場に遭遇して、負傷者の救助と事故処理に尽力された。

感謝状……本山　三好氏（津奈木郵便局勤務）は本年二月、川内部落の火災時、早期に通報して適切な消火活動をなし、被害を最少に止めた。

尚、放水競技成績は次のとおり

一位　第二分団
二位　第五分団
三位　第六分団

○本山三好氏金一封を町社会福祉協議会に寄贈（感謝状に添えられた一封をそのまま）

お礼

次の方々から、香典がえしとして社会福祉協議会に金一封ご寄付下さいました。

謹んで故人のご冥福をお祈り致しますと共に御礼申し上げます

部落　世帯主　続柄　死亡者
内野　山路　茂　尊父　禎喜
桜戸　釜　忠彦　〃　吉平
平上　野崎節子　主人　俊光
上下門　山下士熊　二女　みや子